

2020年度 第6回 IR 推進センター会議 議事録

日時：2020年9月1日（火）13：00～13：30 ※WEB 会議にて実施

出席者：16名

【構成員】

センター長 橋本修二

（医学部）飯塚成志、若月徹、藤江里依子（医療科学部）日比谷信、鈴木康司

（保健衛生学部）山田晃司（大学事務局）濱子二治、山本正樹、島向健太

【協力メンバー】

（看護専門学校）前田初美、園井葉子（広報部）河村孝司

（IT企画開発部）鴻上慶次郎（大学事務局）横田正明、濱島剛

（敬称略）

1) 前回議事録の確認<資料1>

前回議事録が確認された。

2) 各分室活動報告<資料2>

- ・医学部 IR 分室より、「入試選抜方法の妥当性の検証」、「学生生活・学修実態調査」、「卒業生の動向調査-2020年度の活躍状況-」の進捗状況と「全国学生調査の分析」、「卒業時の卒業コンピテンス・コンピテンシー修得度調査」が完了したことが報告された。

「全国学生調査の分析」の一般公開はしない。「入試選抜方法の妥当性の検証」は次回 IR 推進センター会議にて結果を報告する。「卒業時の卒業コンピテンス・コンピテンシー修得度調査」は意見等がある場合は9/8（火）までに連絡をし、一般公開に向けて、体裁を整えて教育部会、全学教学運営委員会へ提出する。

- ・医療科学部・保健衛生学部 IR 分室より、「2019年度卒業生を対象とした学生の動向追跡調査分析」の分析報告書が提出された。意見等がある場合は9/8（火）までに連絡をし、一般公開に向けて、教育部会、全学教学運営委員会へ提出する。また、「2019年度卒業生を対象とした各職種別の DP 調査」、「学生生活・学修実態調査」、「卒業後アンケート」、「GPA、成績分布状況及び進級率の分析」、「遠隔授業実施と成績との関連に係る分析・検討」の進捗状況が報告された。
- ・看護専門学校より、「2020年度の学生生活・学修実態調査結果を踏まえた課題整理」が報告された。
- ・2020年度計画の進捗状況について次回会議にて進捗状況の確認を行う。

3) 学生生活・学修実態調査の計画<資料3>

両 IR 分室、看護専門学校にて事前に「学生生活・学修実態調査の計画」、「学生生活・学修実態調査の実施手順」、「学生生活・学修実態調査の調査項目（共通項目）」、「学生生活・学修実態調査の調査項目（学部項目）」、「学生生活・学修実態調査の報告書の目次」、「学生生活・学修実態調査の集計結果表（様式例）」を確認し、意見等

がないので確定とする。10月の実施、12月末の分析完了に向けて、両IR分室と看護専門学校が準備を行う。

4) 改革総合支援事業と教育の質に係る客観的指標<資料4>

IR活動に関係する項目として、改革総合支援事業のタイプ1の①、②、③、⑪、⑫、⑬、⑭ならびに教育の質に係る客観的指標の③、④-1、④-2、⑫、⑬、⑭の獲得点数の見込み、根拠資料等について報告された。「教育の質改革検討会議」の指示に沿って、根拠の確認および、根拠資料の準備に協力する。

5) 授業科目別達成度自己評価平均集計表<資料5>

昨年度の医学部の集計結果について報告された。2020年度計画に沿って、分析の方向性を次回会議にて報告・審議する。

6) ホームページ作成について

検討中であることが報告された。次回会議にて詳細を報告する。

7) その他

昨年度の機関決定(年度ごとに1回以上1名以上のIR推進センター構成員をIRの企画や実施方法等に関する研修会に派遣する)による2020年度IRフォーラムの参加状況(参加日:8/30(日)、参加者:日比谷構成員)が報告された。

■次回予定 日時 2020年10月6日(火) 13:00~

場所 未定

■次々回予定 日時 2020年11月10日(火)